

あなたはどこへ避難する？

梅雨が明けても、大雨や台風による風水害・土砂災害は秋まで続くことが多く、東海地震や南海トラフ地震は突然起きるかもしれません。避難とは避難所に行くことだけではなく「自分の命を守る行動」のことです。自分や家族にとって少しでも助かる可能性の高い避難行動とは何かを日頃から家族で話し合い、災害の危険が迫ったら迷わず行動しましょう。

☎危機管理課

995-1817

日頃から確認しておきたい、迷わず避難するための4つの備え

①裾野市防災ハザードマップを見る



市公式ウェブサイト
ハザードマップ

- 自宅の周りに色が塗られているかを確認
- 避難をする経路に危険箇所がないかを確認
- 避難場所を自宅かそれ以外か決める

③非常用備蓄品の準備



- 水・非常食は家族の人数×3食×7日分
※非常食の備蓄に代わり日頃の食料を多めに買い置くローリングストックという方法もあります。

②家の安全を確認



- 家具の固定や窓ガラスの飛散防止などの対策
- 家の耐震診断やブロック塀の点検
- 自宅周りの土砂崩れや浸水しそうな場所を確認

④感染症を予防



- 手洗い・うがい・「新しい生活様式」の実践
- 日頃から自分の体調管理
- 感染症予防の持ち出し用品を用意

すそのんと学ぶ

防災ハンドブック “そなえて ぼうさい”

日頃から地域・家庭、そして一人一人の防災対策に役立ててほしいと、平成30年度に市内の女性有志が作りました。

- ・避難所で生活しなくても済む日頃の備えは？
 - ・避難所で生活する時に気を付けることは？
- そんなヒントが分かりやすくまとめられています。



市公式ウェブサイト
すそのんと学ぶ
防災ハンドブック そなえてぼうさい

「マイ・タイムライン」を作ってみましょう

マイ・タイムラインとは、台風や大雨の水害やこれから起こるかもしれない災害に対し、家族構成や生活環境に合わせて、「いつ」「誰が」「何をするのか」をあらかじめ時系列で整理した自分自身の防災行動計画のことです。



国土交通省関東地方整備局
Webでマイ・タイムライン

あなたにとって最良の避難行動を決めておきましょう

1 自宅で避難

自宅で身の安全を確保できる人は、そのまま自宅で避難しましょう。特に夜間や周囲が危険な状態にあるときは、無理な屋外避難は控えましょう。

！ 自宅で避難できるのはこんな人

- ・ 裾野市防災ハザードマップで自宅の周りに色が付いていない
- ・ ハザードマップに色が付いているが、浸水する位置よりも高い部屋へ逃げられる。土石流に耐えられる頑丈な建物に住んでいるなどの条件が整っている

！ 自宅避難のポイント

- ・ 家具の転倒防止や窓ガラスの飛散防止など家の中の安全を高めておく
- ・ 食料、飲料水、医薬品などの生活備品の備蓄をしっかりとしておく

2 親戚や知人宅へ避難

！ 親戚や知人宅へ避難するのはこんな人

- ・ 自宅での避難が危険で、安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人がいる

！ 親戚や知人宅への避難のポイント

- ・ 平時から避難先と相談しておく
- ・ 避難先への安全な移動経路を確認しておく

3 指定避難所へ避難

！ 指定避難所へ避難するのはこんな人

- ・ 自宅での避難が危険で、親戚や知人宅へ身を寄せるのが難しい人

！ 指定避難所への避難のポイント

- ・ 避難所へ持ち出すものを準備しておく
- ・ 避難所への安全な移動経路を確保しておく
- ・ 持病がある人は避難したときに係へ伝えておく

避難所に持参するもの

水・食料 着替え タオル 薬 など

- 感染症予防グッズを準備しておきましょう。
(マスク 体温計 除菌シート スリッパ)

自分が行く避難所を知っていますか

市内には広域避難地が11カ所あり、同じ場所に指定避難所があります。災害の種類や規模で第1に開設される避難所が変わったり、開設する避難所の数が変わったりします。

平時に自分が行くべき避難所を確認し、家族で共有しましょう。

災害時には、開設避難所を個別受信機や市公式ウェブサイト、まもメールでお知らせします。



“警戒レベル”ってなに？

市が発信する、住民が取るべき行動を直感的に分かるように5段階のレベルで表した情報です。

警戒レベル	避難情報など	避難行動 (とるべき行動)
5	災害発生	すでに災害発生 命を守る行動をとる
4	避難指示・避難勧告	安全な場所に避難する
3	避難準備・高齢者等 避難開始	高齢者・障がい者・ 乳幼児のいる家庭は 避難。その他は準備
2	洪水注意報・ 大雨注意報	災害への心構えをする
1	洪水注意報・ 大雨注意報	災害に備え、ハザード マップで避難行動を確認

警戒レベルと避難行動

警戒レベル3は、高齢者や障がい者、乳幼児のいる家庭などが避難を開始するタイミングで、警戒レベル4になると全員の避難行動が必要な状況です。警戒レベル5は、すでに災害が発生していてあらゆる移動が危険です。

警戒レベルを確認し、身動きが取れなくなる前に避難行動をとりましょう。